

事業番号	02 06 03	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	移住・交流推進事業費		部局	企画振興部	課・室	地域振興課
			実施期間	H15 ～	E-mail	iju @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

本県は、雑誌等の移住希望地ランキングで上位となるなど、移住人気県として評価が定着しており、長野県への移住者数も8年間で約1.9倍（H27年度：1,758人⇒R5年度：3,363人）と増加傾向にある。その強みを活かし、急速に進む人口減少の緩和策として、移住定住策の更なる推進を図る必要がある。また、ライフスタイルの多様化などの社会の変化を見据え、移住に限らず、二地域居住など多様に長野県と関わる人々を増やしていくことで、地域の活性化を図る必要がある。

2 事業目的

本県の強みや魅力をアピールし、移住人気県としてのブランド力を向上をしていくとともに、相談等の支援体制強化のほか、多様な関わり方の機会を提供することで、移住・二地域居住等つながり人口（関係人口）の拡大を推進し、地域の活性化や活力創出を図る。

3 事業目的を達成するための取組

- ①移住支援体制の強化
- ・【拡】地方への移住希望者と県内地域とのマッチングを推進するため、地方移住の相談拠点として機能するNPO法人ふるさと回帰支援センターへ配置している相談員を増員
 - ・【新】広域的な移住サポートを実施するため、県採用の地域おこし協力隊を配置
 - ・三大都市圏及び県庁でのきめ細かな相談に応じるため「信州暮らし案内人」を配置
- ②信州の魅力の徹底アピール
- ・【新】民間の知見を踏まえた効果的な移住等プロモーションの革新と市町村の広報スキルアップを実施
 - ・【拡】市町村や民間企業と連携し、長野県の仕事と暮らしをセットで相談できる移住相談会・セミナーを開催
 - ・移住に関する包括サイトを運営し、長野県の仕事と暮らしを総合発信
- ③つながり人口の創出拡大
- ・【新】長野県の特徴あるコンテンツを活かし「旅するように仕事をしながら暮らす」ことを体感するプログラム「信州ワーキングホリデー」を実施
 - ・【新】地域にある魅力的な「ヒト・コト・モノ」を「物語（ストーリー）」として、発信することで、都市部の若者の「共感」を呼び、人と人がつながり、さらに新たな人を地域へ呼び込む仕組みづくりを実施

4 成果指標

（推移の凡例 ↑：改善 ↓：悪化 →：変化なし -：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	推移	実績	推移	見込	推移			
①	移住相談件数	件	9,515	↘	9,389	↘	9,495	↗	10,091 以上	△	三大都市圏及び県庁で対応した相談件数を設定。相談員を増員し、R5の相談件数に採用や慣らし期間等考慮した一人あたりの件数を上乗せし、目標値とする。 ※非対面の相談も含める集計に変更
②	移住イベント（相談会・フェア）参加者数	人	1,255	↗	1,308	↗	1,389	↗	1,499 以上	△	魅力的なテーマの設定や、仕事と暮らしをセットで相談できる移住フェアの回数を増やし、R5の参加者数に過去の同規模移住フェアの参加者数を上乗せし、目標値とする。 ※対象イベントを拡充し、集計対象を参加者数に統一
③	イベント参加者の長野県への関心度向上割合	%	-	-	-	-	-	-	80	△	イベント開催後のアンケートにおいて、長野県への関心度の向上についての問いに対し「向上した」と回答した人の割合を80%以上とすることを旨とする。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
3-1⑤	移住・交流・多様なかかわりの展開	☆移住者数	人	2021 (R3)	2,960	2022 (R4)	3,334	2023 (R5)	3,363	2027 (R9)	4,500
3-1⑤	移住・交流・多様なかかわりの展開	☆社会増減(2023～27年度累計)	人	-	-	2023 (R5)	1,763	2024 (R6)	4,424	2027 (R9)	2,700

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R7年度	予算案		111,902		111,902	92,563	7.0
	要求		123,236		123,236	115,784	
R6年度		0	60,349	0	60,349	52,292	7.0
R5年度		0	53,105	0	53,105	41,896	6.4
要求からの 主な変更点	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと回帰支援センター連携事業の、事業内容の一部を見直したことにより経費を減額 ・ターゲットに“響く”信州移住プロモーション革新事業の、事業内容の一部を見直したことにより経費を削減 						

事業名	移住・交流推進事業費	部局	企画振興部	課・室	地域振興課
-----	-------------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
1	信州暮らし案内人の配置	19,317 千円	21,952 千円	予算案 23,912 要求 23,912 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	信州暮らし案内人の配置	直接	三大都市圏（東京・名古屋・大阪）及び県庁に、総合的な移住相談窓口を設置し、それぞれに相談員（信州暮らし案内人）を配置 相談員の配置4名（東京・名古屋・大阪・県庁）	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
2	ふるさと回帰支援センター連携事業	20,170 千円	22,045 千円	予算案 32,929 要求 36,099 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	NPO法人ふるさと回帰支援センター連携事業	委託	地方移住の相談拠点として機能するNPO法人と連携し、移住希望者と県内地域とのマッチングを推進 ・【拡】東京：移住相談員3名、就職相談員1名の配置、資料ブース、相談専用スペースの設置 ・大阪：資料ブースの設置、出張相談の実施 相談員の配置4名（東京）	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
3	ライフスタイルPRを通じた信州回帰推進事業	1,993 千円	1,993 千円	予算案 1,993 要求 1,993 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	ライフスタイルPRを通じた信州回帰推進事業	委託	長野県移住総合Webメディア「SuuHaa」を中心に、長野県で「暮らす」「働く」「つながる」といったライフ・ワークスタイルに関する記事コンテンツを制作するとともに、SNSを活用した情報発信を実施 記事コンテンツ制作数15件予定	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
4	空き家利活用人材育成事業	- 千円	4,456 千円	予算案 4,456 要求 4,456 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	空き家利活用人材育成事業	委託	移住者の住まい確保策の一環として、地域で空き家利活用に取り組む専門人材を育成するための実践的な滞在型長期研修を実施 2泊3日の短期研修、3か月間の長期研修をそれぞれ1回開催予定	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
5	田舎暮らし「楽園信州」推進協議会事業	3,551 千円	3,551 千円	予算案 4,651 要求 4,651 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	田舎暮らし「楽園信州」推進協議会事業	負担金	【拡】県、市町村、民間事業者が参画する協議会において、オール信州による移住等の取組を展開（移住セミナー・相談会の開催、各種フェアへの参加、移住者交流会の開催、移住者捕捉のための取組など、移住関連の事業を総合的に実施） 移住セミナー16回開催、移住者交流会4回開催予定	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
6	県採用地域おこし協力隊による広域的移住推進体制構築事業	- 千円	- 千円	予算案 27,197 要求 27,400 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	県採用地域おこし協力隊による広域的移住推進体制構築事業	委託	【新】県採用地域おこし協力隊を広域的な移住コーディネーターとして配置（4箇所） 広域的な移住コーディネーター4か所配置予定	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
7	ターゲットに"響く"信州移住プロモーション革新事業	- 千円	- 千円	予算案 3,674 要求 11,400 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	ターゲットに"響く"信州移住プロモーション革新事業	負担金	【新】情報発信の在り方の検討や研修を行う場を設け、移住等プロモーションの革新（移住プロモーション戦略の策定）と市町村のスキルアップ研修を実施 移住等プロモーション革新検討部会（仮称）を4回開催予定	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
8	信州つなぐ物語事業	- 千円	- 千円	予算案 4,484 要求 4,719 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	信州つなぐ物語事業	委託	【新】地域にある魅力的な「ヒト・コト・モノ」を「物語（ストーリー）」として発信することで、都市部の若者の「共感」を呼び、人と人がつながり、さらに新たな人を地域へ呼び込む仕組みづくりを実施 「物語（ストーリー）」としての記事の作成20記事予定	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
9	信州ワーキングホリデー事業	- 千円	- 千円	予算案 6,953 要求 6,953 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	信州ワーキングホリデー事業	委託	【新】県内の特色ある仕事をしながら滞在し、さらには、地域と交流する機会を設けることで、地域に溶け込んだ「仕事をしながら暮らす」ことを体感するプログラムを実施 プログラム実施地域10地域予定	